



向原小建替NEWS

vol.01

2022年(令和4年)5月
発行：目黒区教育委員会

新校舎検討の地域懇談会がはじまりました！



第1回 目黒区立向原小学校新校舎検討地域懇談会の様子

目黒区立向原小学校新校舎検討地域懇談会の設置

目黒区立向原小学校建替の基本構想及び基本設計を策定するに当たり、新たな施設に求められる機能等について地域、保護者、学校、複合施設利用者と意見交換及び情報共有することを目的として、目黒区立向原小学校新校舎検討地域懇談会を設置しました。第1回地域懇談会は2022年(令和4年)4月26日(火)に向原小学

校の多目的室で開催し、会長1名と副会長2名が構成員の互選で選出され、運営方法の取り決めを行いました。また、区から今後の向原小学校建替の流れ、目黒区の区有施設見直しの説明、現在の向原小学校と向原住区センターの紹介などを行いました。2027年(令和9年)の新校舎完成に向けて、施設整備の計画を進めてまいります。

第1回地域懇談会 次第

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 教育次長、企画経営部長の挨拶
4. 会長及び副会長の選出
5. 懇談会の運営について
6. 向原小学校建替の流れ
7. 区有施設見直しについて
8. 向原小学校の紹介
9. 向原住区センターの紹介
10. 設計事業者提案の紹介
11. 最近の学校の事例
12. 意見交換
13. その他
14. 閉会

【学び】

主体性を育む

4つの空間構成

地域と共に育つ
向原の学校

【地域】

地域と共に育つ

向原の学校

【環境】

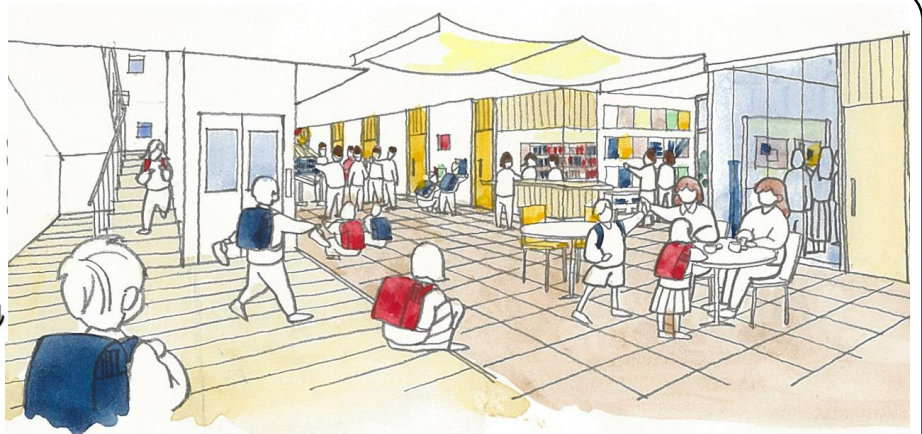
未来につなぐ

カーボンニュートラルスクール

【学び】 子どもの主体性を育てる

【地域】 地域のつながりを育てる

【環境】 環境効果データを育てる



プロポーザル提案のコンセプトとイメージ

教育次長と企画経営部長より挨拶



谷合 祐之 教育次長

今後、老朽化した学校を順次建替えていきます。次の三点を重点に、施設整備を進めてまいります。

- ①教育活動の充実
- ②安全・安心な施設
- ③地域との連携



高橋 和人 企画経営部長

地域の核となる学校と住区センターを複合化することで、新しいコミュニティの拠点として向原地域に根差した次世代に残す施設整備を進めてまいります。

地域懇談会の会長と副会長を選出

地域懇談会構成員の互選により、地域懇談会の会長と副会長が選出されました。

【会長】

岩富孝允氏（向原小学校PTA会長）

【副会長】

松本 猛氏（向原住区住民会議会長）

村尾勝利氏（向原小学校長）



岩富 孝允 会長

（岩富会長コメント）

私は、向原小学校を卒業しました。新校舎で子どもたちが学ぶ姿を想像すると明るい未来が見えます。学校と地域がつながりを深められる懇談会の運営に努めます。

区有施設見直し計画

目黒区は、老朽化する区有施設の安全・安心の確保や更新に係る経費などの課題を踏まえ、区有施設見直し計画を策定するなど取り組みを進めています。学校施設の更新に当たっては、地域の拠点として区有施設との複合化・多機能化を図ることとしています。地域懇談会では区有施設見直しについて、資産経営課長から説明しました。



向原小学校(現状)



向原住区センター(現状)

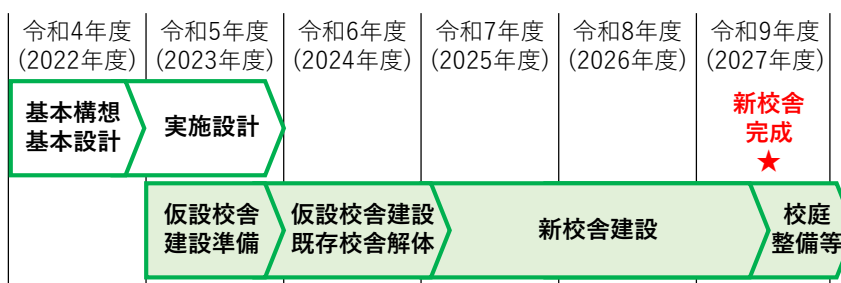
設計事業者の紹介

2021年度(令和3年度)に行われた設計事業者選定プロポーザルで【株式会社類設計室】が選定されました。地域懇談会では類設計室から提案内容や先進事例等が紹介されました。

地域懇談会での主な発言内容

- 正門を立会川緑道に面して設ける場合は、歩道を整備するなど登下校時の安全確保が必要。
- 体育館を2階に設置することで、校庭を広く確保することが可能となる。
- 防災倉庫は、出し入れのしやすさや、校庭・体育館との位置関係に配慮する必要がある。
- 学校プール設置の必要性については、今後、検討していかなければならない。
- 緊急時などは校庭への大型車両の出入りが必要となる。
- 校庭は、住区の催事などでも活用しており、様々な使い方に対応できるよう検討すべき。
- 住区の学童保育クラブと小学校内学童保育クラブは一体となるが、運営方法は今後の検討。

建替えの流れ（進捗によって、変更する場合があります。）



向原小学校建替えに関して、ご意見・ご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

目黒区教育委員会事務局
学校施設計画課

担当 神野、加賀美

電話 03-5722-9307(直通)

FAX 03-5722-9333

E-mail kyoiku02@city.meguro.tokyo.jp